



両備グループ
トランスポーターション&トラベル部門
脱炭素ソリューションご紹介資料



<https://ryobi.gr.jp/>



マイカーから路線バスでの移動に切り替えることで 1人あたりのCO₂排出量の削減につながります

こんな方におすすめです

マイカーで移動されている方

脱炭素メリット

- マイカーの利用抑制につながる
- 個人でマイカーで移動するよりも、路線バスで移動するほうが1人あたりのCO₂排出量が少ない

サービス概要

各社、以下のエリアで移動サービスを提供しています。

- 両備バス：岡山市、倉敷市、玉野市、瀬戸内市で運行
- 岡電バス：岡山市内を中心に運行
- 中国バス：福山市内を中心に広島東部を運行
- 井笠バス：広島県福山市と笠岡市・井原市等岡山県西部を中心に運行

お客さまに安全・安心に、便利にご利用いただけるよう、さまざまなサポートやサービスもご用意しております。

例) バスや電車が地図上でどこにいて、いつくるか、どこで乗れるか、一目でわかるバスロケーションシステム「Bus-Vision」、ルート案内サイト「しらべるーと」など

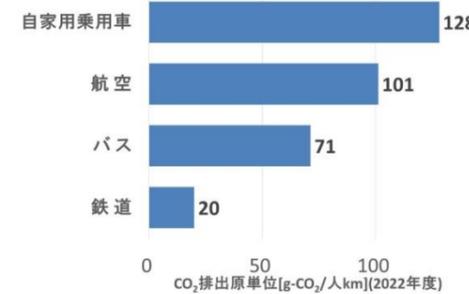


詳細は以下の各社ホームページをご覧ください。

- 両備バス：<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/rosen/>
- 岡電バス：<https://okayama-kido.co.jp/bus/>
- 中国バス：<https://www.chugokubus.jp/routebus>
- 井笠バス：<https://www.ikasabusco.jp/routebus/>

脱炭素効果について

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)



※温室効果ガスインベントリオフィス:「日本の温室効果ガス排出量データ」、国土交通省:「自動車輸送統計」、「航空輸送統計」、「鉄道輸送統計」より、国土交通省 環境政策課作成

旅客輸送において、各輸送機関のCO₂排出量を輸送量（人キロ：輸送した人数に輸送した距離を乗じたもの）で割り、単位輸送量当たりの平均的なCO₂排出量を試算すると左図のようになります。

※サイズや車種、船種、機種等を区別せず、輸送機関の分類のみを考慮したものです。

参考

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

たとえば、多くの方にご利用いただいている、岡山駅－西大寺バスセンター間、約12kmの道のりをマイカーから路線バスでの移動に切り替えると、以下のCO₂削減量（1人あたり）となり、約44.5%のCO₂削減につながります。

マイカー…128g-CO₂/人km × 12km = 1.536kg-CO₂

路線バス…71g-CO₂/人km × 12km = 0.852kg-CO₂

さらに、両備グループには環境配慮に特化したバス車両もございます。



未来型バス「ソラビ (SOLARVE)」
ハイブリッドシステム/ルーフへのソーラーパネル搭載/LED採用/車内は天然素材使用



小型電気バス「J6」
備後圏域初のEVバス/府中市内を走行

両備グループ バス・電車お客さまセンター

Tel：086-230-2130

※受付時間：9:00～17:30（平日）

※お急ぎの方は各営業所まで直接ご連絡ください。

Mail：cs-bus@ryobi-holdings.jp

※土日祝日年末年始のお問い合わせは翌営業日の対応となります。

各種お問い合わせについてのご案内：

<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/rosen/contact/>

マイカーから路面電車での移動に切り替えることで 1人あたりのCO₂排出量の削減につながります

こんな方におすすめです

マイカーで移動されている方

脱炭素メリット

- マイカーの利用抑制につながる
- 個人でマイカーで移動するよりも、路面電車での移動のほうが1人あたりのCO₂排出量が少ない

サービス概要

岡山駅前から、東山と清輝橋の二方向へ路線が延びる路面電車。

明治45年から100年以上、岡山の街を走り続けています。

「おかでん」の愛称で親しまれ、通勤・通学の市民の足であるとともに、後樂園・岡山城・カルチャーゾーンなどへの観光の便利な足として、走り続けています。

お支払い方法は、定期券、一日乗車券、ICカード、現金です。



ホームページ

<https://okayama-kido.co.jp/tram/>

見て、乗って、楽しい交通手段を目指して、さまざまな車両ラインナップをご用意しています。



おかでんチャギントン電車

世界で大人気の鉄道アニメ「チャギントン」の「ウィルソン」「ブルースター」が実際の路面電車に再現された電車。お子さまにとって夢のような車両です。



MOMO (9200形)

2002年に運行を開始した100%超低床式路面電車。電停との段差がなく、車椅子でもスムーズに乗れます。第一回日本鉄道賞、グッドデザイン賞、ローレル賞など多くの賞を受賞。



KURO (3000形)

岡山で昭和44年より運行している最古の電車をリニューアルした車両。ボディは岡山城（烏城）にあわせて「烏の濡れ羽色」の黒を使用しています。

脱炭素効果について

P02と同様の各輸送機関ごとのCO₂排出量データを用いると参考

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

たとえば、多くの方にご利用いただいている、岡山駅－東山間約3kmの道のりをマイカーから鉄道での移動に切り替えると、以下のCO₂削減量（1人あたり）となり、約84.4%のCO₂削減につながります。

マイカー…128g-CO₂/人km × 3km = 384g-CO₂

鉄道…20g-CO₂/人km × 3km = 60g-CO₂

岡山電気軌道株式会社 電車事業部

Tel : 086-272-5520

お問い合わせフォーム : <https://okayama-kido.co.jp/tram/contact/>

マイカーから高速バスでの移動に切り替えることで 1人あたりのCO₂排出量の削減につながります

こんな方におすすめです

マイカーで移動されている方

脱炭素メリット

- マイカーの利用抑制につながる
- 個人でマイカーで移動するよりも、高速バスで移動するほうが1人あたりのCO₂排出量が少ない

サービス概要

各社、以下の移動サービスを提供しています。

- 両備バス：
岡山県を起点として、関東（東京駅・上野・東京ディズニーランド、新宿、横浜・東京駅）／東海（名古屋）／関西（大阪、京都、神戸三宮、関西国際空港）／中国（広島、米子・松江・出雲、倉吉）／四国（松山、高知、徳島）／九州（福岡）とを結ぶ高速バス
- 中国バス：
広島を起点として、関東（東京・横浜）／関西（新大阪・難波・神戸）／四国（今治・松山）／九州（福岡）とを結ぶ高速バス、また、福山市・府中市・尾道市・甲奴から広島市内を結ぶ県内都市間高速バス、福山市と因島を結ぶ高速バス、リムジンバスを運行

※現在運休中の路線あり

ホームページ

- 両備バス：<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/kousoku/index/>
- 中国バス：<https://www.chugokubus.jp/highwaybus>



高速バスを使った個人向けトラベルプラン「LaLaLaトラベル」



1名様から予約OK！一人旅、女子旅、記念日旅行に素敵なプランをご用意しています。以下が特徴のサービスです。

- これまで個別手配が必要だった高速バスと旅行素材（食事や宿泊）をまとめて予約することができる。
- 毎日の運行が約束されている高速バスを利用するため、最小催行人数未達による旅行中止がない。
- 毎日の運行が約束されている高速バスを利用するため、毎日出発設定が可能。
- 予約&決済はWEB限定チケットはスマホのみ。

詳細・お問い合わせについてはホームページをご覧ください。

<https://lalalatravel.jp/>

脱炭素効果について

P02と同様の各輸送機関ごとのCO₂排出量データを用いると参考

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

たとえば、多くの方にご利用いただいている、岡山ー大阪間約180kmの道のりをマイカーからバスでの移動に切り替えると、以下のCO₂削減量（1人あたり）となり、10kg-CO₂以上の大幅なCO₂削減につながります。

マイカー…128g-CO₂／人km×180km=23kg-CO₂

高速バス…71g-CO₂／人km×180km=12.8kg-CO₂

また、両備グループの高速バスは、予約サイトから乗車券の購入が可能です。従来のアナログな発券をなくすことで、お客さまとスタッフ双方の手間を減らすのはもちろん、ペーパーレス化を実現することで脱炭素にも貢献します。

両備グループ高速バスコンタクトセンター

Tel：0570-08-5050（ナビダイヤル）

※営業時間：9:00～17:30

※午前中と営業終了時間前はお電話が集中し繋がりにくくなる場合がございます。

お問い合わせについてのご案内：<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/contact/>

マイカーから貸切バスでの移動に切り替えることで 1人あたりのCO₂排出量の削減につながります

こんな方におすすめです

今まで複数台のマイカーで移動していた団体、チーム

脱炭素メリット

- マイカーの利用抑制につながる
- それぞれが複数台のマイカーで移動するよりも、団体に貸切バスで移動するほうが1人あたりのCO₂排出量が少ない

サービス概要

少人数から団体様、日帰り旅行、宿泊旅行、社員旅行、学校の遠足、町内会旅行、子ども会旅行、部活動遠征、同窓会旅行、送迎、イベント参加、視察、研修など多様な行事や移動にご利用いただけます。大型バス・中型バスなど人数に応じた車両がございます。

各社、以下の配車エリア内に出発地または降車地のどちらかが入っていればご利用可能となっております。

- 両備バス：
配車エリアは、岡山県・大阪府です。
- 中国バス：
配車エリアは、広島県全域、岡山県一部（笠岡市、井原市、高梁市、浅口市など）です。
- 井笠バス：
配車エリアは、広島県・岡山県です。
- ニッコー観光バス：
配車エリアは、東京都全域、埼玉県の一部（川口市、草加市、八潮市）です。
- リョービツアーズ：
貸切バスの手配から団体旅行の企画等承ります。

ホームページ

- 両備バス：<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/kashikiri/index/>
- 中国・井笠バス：<https://www.chugokubus.jp/kankou>
- ニッコー観光バス：
<https://www.nikko-bus.co.jp/service/index.html>
- リョービツアーズ：
<https://www.ryobi-tours.jp/business/group-tour/>



脱炭素効果について

エコツアー・環境学習の貸切バス受注も可能です

エコツアーや環境軸でのツアーを主催・受注している旅行会社さまの貸切バス受注も各地で承ります。

岡山県の小学校、中学校等においては、環境保全意識の高揚、普及啓発を図るため、「環境学習エコツアー」の実施実績がございます。たとえば、環境配慮型施設を見学体験する日帰りバスツアーのバスを中心に受注しております。

両備ホールディングス株式会社 両備バスカンパニー

お問い合わせについてのご案内：

<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/kashikiri/inquiry/>

株式会社中国バス 本社観光部

Tel：084-953-2566

Mail：kanko@chugokubus.jp

※受付時間：8:45～17:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

ニッコー観光バス株式会社

お問い合わせについてのご案内：<https://www.nikko-bus.co.jp/contact/index.html>

株式会社リョービツアーズ

お問い合わせについてのご案内：<https://www.ryobi-tours.jp/inquiry/>

マイカーからバスに乗り換えることで CO₂排出量削減や環境配慮につながります

こんな方におすすめです

マイカー移動されている方

脱炭素メリット

- マイカーの利用抑制につながる
- 個人でマイカーで移動するよりも、路線バスで移動するほうが1人あたりのCO₂排出量が少ない
- 渋滞の緩和や排気ガスによる大気汚染抑止など沿道環境の向上が期待できる

サービス概要

ご自宅から専用駐車場までマイカーを利用し、専用駐車場からバスに乗り換えていただく交通システムです。

- 両備バス・岡電バス：
通勤・通学にご利用いただけるパークアンドバスライド専用駐車場をご用意しております。通勤通学定期券をご購入いただくことがご利用条件となります。
詳細はホームページをご覧ください。

パーク&バスライド パーク&バスライドで快適に
岡山駅・天満屋方面へ
通勤・通学に便利でお得！

利用特典 専用駐車場無料

利用条件
1) 最寄バス停からの定期券の購入
2) 両備ストアの発行するたまんEdyカードへのチャージ(定期券1ヶ月あたり3,000円)
※★印の駐車場はチャージ不要です。

利用案内
専用駐車場及び利用バス停は右記地図をご覧ください。同乗者の方もご利用可。

利用時間
各専用駐車場により異なります。

お問い合わせ先
両備グループバス・電車
お客さまセンター
086-230-2130

- 中国バス：
府中営業所敷地内において、高速バスに便利に接続することが可能なパークアンドライド対応の専用駐車場をご用意しております。
詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ

- 両備バス <https://www.ryobi-holdings.jp/bus/rosen/teiki-ic/park-and-bus-ride/>
- 岡電バス <https://okayama-kido.co.jp/bus/teiki.html>
- 中国バス <https://www.chugokubus.jp/12069>

脱炭素効果について

パークアンドバスライドを利用することにより、マイカーから路線バスに転換するため1人あたりのCO₂排出量が削減されます。



P02と同様の各輸送機関ごとのCO₂排出量データを用いると
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

たとえば、岡山駅-両備ストア本部間約9.7kmの道のりをパークアンドバスライドによりマイカーからバスでの移動に切り替えると、以下のCO₂削減量(1人あたり)となります。
マイカー…128g-CO₂/人km×9.7km=1.241kg-CO₂
路線バス…71g-CO₂/人km×9.7km=0.688kg-CO₂
年間(20日×12か月)で見ると、132.7kgもの大幅なCO₂削減につながります。

両備グループバス・電車お客さまセンター

Tel : 086-230-2130

※受付時間：9:00～17:30(平日)

※お急ぎの方は各営業所まで直接ご連絡ください。

Mail : cs-bus@ryobi-holdings.jp

※土日祝日年末年始のお問い合わせは翌営業日の対応となります。

各種お問い合わせについてのご案内：

<https://www.ryobi-holdings.jp/bus/rosen/contact/>

1人あたりのCO₂排出量の削減とともに マイカーの減少による渋滞緩和にもつながる

こんな方におすすめです

沿線周辺の範囲をマイカーで通勤、通学されている方
沿線周辺の範囲をマイカーで観光されている方
移動に伴うCO₂排出量を低減したい方・企業さま

脱炭素メリット

- マイカーの利用抑制につながる
- 個人でマイカーで移動するよりも、電車で移動するほうが1人あたりのCO₂排出量が少ない
- マイカーと比較して人キロあたりのCO₂排出量をおよそ1/6に削減できる
- 渋滞の緩和や排気ガスによる大気汚染抑止など沿道環境の向上が期待できる

サービス概要

和歌山電鐵貴志川線は和歌山市の和歌山駅から紀の川市の貴志駅までを結ぶ鉄道です。
駅長を三毛猫のウルトラ駅長「ニタマ」とマネージャー駅長「よんたま」が務め、個性的な電車「いちご電車」「たま電車」「うめ星電車」「たま電車ミュージアム号」が走るローカル線として、国内外から多くの観光客が訪れます。
貴志駅は猫の顔をモチーフに、屋根は伝統工法の檜皮葺を使用した世界にひとつの駅舎。駅長の「ニタマ」「よんたま」とともに、ローカル鉄道再生のシンボルで名誉永久駅長の「たま」が、和歌山電鐵と地方公共交通の守り神「たま大明神」として、ホームに建立された「たま神社」から今も皆さまをお出迎えしています。駅舎内には、待合室を兼ねた「たまカフェ」と「たまショップ」があり、猫をイメージしたドリンクやジェラート、軽食などが味わえるほか、人気の「たまグッズ」をお買求めいただけます。

ホームページ

<https://wakayama-dentetsu.co.jp/>



脱炭素効果について

P02と同様の各輸送機関ごとのCO₂排出量データを用いると
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

たとえば、和歌山駅－貴志駅間約14kmの道のりをマイカーから電車での移動に切り替えると、以下のCO₂削減量（1人あたり）となります。

マイカー…128g-CO₂/人km×14km=1.792kg-CO₂
鉄道…20g-CO₂/人km×14km=0.28kg-CO₂

年間（20日×12か月）で見ると、362.9kgもの大幅なCO₂削減につながります。

和歌山電鐵株式会社 総務企画部営業企画課
Tel : 073-478-0110
Mail : info@wakayama-dentetsu.co.jp

CO₂排出量の少ない車両を使用しており 車での移動に比べて脱炭素効果があります

こんな方におすすめです

現在、社用車を所有している企業さま

脱炭素メリット

- ガソリンと比べてCO₂排出量の少ないLPGの車両を用いることにより、移動に伴うCO₂排出量削減が期待できる

サービス概要

24時間365日対応可能。岡山市を中心に岡山県・広島県の一部エリアで営業中です。市民の足として「タクシーに乗るなら、サービスの良い両備のイエローキャブ」と、お蔭様でお客様にご愛顧いただいております。タクシーはお迎え先・お送り先の両方またはいずれかが営業エリア内であればご利用いただけます。通常のご予約はお電話またはスマートフォン配車アプリ（P09）で承ります。一般のお客様だけでなく、企業さまにとっても、タクシーを業務の際の移動に使用することにより、社用車の維持費や、安全運転管理者の選任や管理業務なども必要なくなり、メリットが大きいです。また、おなじみの黄色いタクシーからバス車両まで、人数や用途に合わせて様々な車種をご用意しております。お気軽にお申し付けくださいませ。

ホームページ

両備タクシーセンター（岡山市）：<https://ryobi-tc.com/>

岡山交通株式会社：<https://okayama-kotsu.com/>

岡山両備タクシー株式会社：<https://okayama-ryobi-taxi.jp/>



脱炭素効果について

タクシーで使われているLPガス（Liquefied Petroleum Gas）は液化石油ガスのことで、家庭の給湯器の熱源などにも使われている燃料の一種です。

LPガスは低燃費かつ排気がクリーンで、ガソリンやディーゼルに比べてCO₂排出や排気ガス中の有害物質が少ないことが特徴です。

LPG車とガソリン車のCO₂排出量を比較してみると、2300ccクラスでは約8.7%、ハイブリッドタイプでは約8.0%程度、LPG車の方がCO₂排出量が少なくなっています。

乗用車でのCO₂比較



出典:国土交通省所管
日本自動車輸送技術協会測定データ

LPガスは、ブラックカーボンなどの浮遊性粒子状物質（SPM）の他にも、大気汚染の原因とされている窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）をほとんど排出しないため、特に都市部の自動車交通に因る大気汚染防止の最も現実的かつ容易な選択肢として、世界各地の都市でLPG車の導入が進められています。

さらに、岡山交通ではEV車「日産アリア」をタクシーとして導入し2023年より運行を開始しています。日産自動車によると、同車両がタクシーとして導入されたのは、中四国では岡山交通が初となります。



両備タクシーセンター

Tel : 086-262-3939

※岡山市（一部地域除く）の配車受付

利便性の向上だけでなく お客さまとオペレーターの消費電力も削減します

こんな方におすすめです

タクシーを利用される全てのお客さま

脱炭素メリット

- 配車アプリをご利用いただくことで通話を減らし、お客さまとオペレーターの消費電力を削減できる

サービス概要

岡山・倉敷・津山のエリアにおいて、両備グループのタクシーを呼ぶ際に通話をすることなく、スマホのアプリでタクシーを呼ぶことができるサービスです。



TAXI.comeのご利用メリット

- お急ぎのときでも、予約のときでも、スマホ1つでサクッと注文できます
- いま空いているか、どこにいるか、アプリ上ですぐにタクシーの位置を確認できます
- クレジットカードを登録すれば、現金不要のネット決済を利用できます
- ご自宅やよく行くお店などいつもの場所をお気に入り登録できます



こちらのQRコードよりダウンロードください。

ホームページ

<https://taxi-come.com/>

脱炭素効果について

両備グループのタクシーセンターでは、お客さまとオペレーターとの間で、1日あたり約70時間の通話が発生しています。TAXI.comeをご利用いただくことによりお客さまとオペレーターとの通話が不要となるため、電話の使用が無くなり、その分の消費電力が抑えられます。たとえば、全体の3割のお客さまにTAXI.comeをご利用いただいた場合、通話料金から算出したCO₂削減量は以下の通りです。

- 排出係数「固定電気通信サービス」
0.0015095027468126kg-CO₂eq/円
出典：IDEAv2（サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用）
- 通話1分あたりの平均的な通話料金33円
- 全体で約3割のお客さまにTAXI.comeのアプリをご利用いただいた場合、通話時間が約70時間から約50時間（20時間の削減）

上記から、両備グループのタクシーセンター全体で1日あたり約60kgのCO₂を削減することとなります。年間では、約2.2トンもの大幅なCO₂削減につながります。

両備タクシーセンター

Tel : 086-262-3939

お問い合わせについてのご案内：<https://taxi-come.com/inquiry/>

マイカーからタクシーでの観光に切り替えることで 1人あたりのCO₂排出量の削減につながります

こんな方におすすめです

岡山で観光をしたいお客さま

脱炭素メリット

- タクシーや観光バスをご利用いただいで観光することにより、移動に伴う1人あたりのCO₂排出量の削減が期待できる

サービス概要

お客さまのご要望に添ったプランでタクシーやバスでの観光をお楽しみいただけます。

ご乗車地、ご降車地の両方またはいずれかが以下エリア内の場合に運行が可能です。

タクシー：岡山市（北区建部町・東区瀬戸町を除く）

バス：岡山県・広島県

以下のプランを常設しております。

- 児島周辺 贅沢ランチ/ディナープラン【岡山/倉敷発】
- 酒米・雄町タクシー 蔵元で楽しむランチプラン【岡山/倉敷発】
- 夢二タクシーで巡る 夢二大正ロマンの旅
- 岡山カレータクシーで巡るツアー

また、旅行、ビジネス、ご送迎など、ご希望の行程で車両を貸し切ることもできます。普通車のタクシーだけでなく、以下のようなリッチなハイグレード車両、大型バスまで。ニーズに合わせて豊富な車両ラインナップで対応いたします。

- ミジュアリータクシー（クラウン スーパーサルーン）
- ジャンボタクシー（黒）
- ミニバンタクシー（アルファード）
- ハイグレードタクシー（レクサス）
- 貸切バス（大型・中型・小型）



ホームページ

<https://okayama-kotsu.com/travel/>

脱炭素効果について

たとえば、「児島周辺 贅沢ランチプラン」を8名乗りジャンボタクシーで8名さまにご参加いただいた場合、8名さまが2台のマイカーで同じコースを観光する場合と比較すると、以下の通り、CO₂排出量が50%削減となります。

- マイカー2台の場合
128g-CO₂/人km（マイカーのCO₂排出量）×60km（本プランの総移動距離）=3.84kg-CO₂
- ジャンボタクシーご利用の場合
上記が1/2になるので、1.92kg-CO

また、県外からのお客さまに岡山までマイカーではなく公共交通でお越しいただき、岡山県内をタクシーで観光していただくことでも、CO₂削減の相乗効果が生まれます。

岡山交通株式会社 観光部
Tel：086-263-1616

低燃費運航を行うことによって
フェリー利用時のCO₂排出量を抑制します

こんな方におすすめです

岡山、神戸、津で観光をしたいお客さま

脱炭素メリット

- 両備グループのフェリーで採用している船底塗料では、運行時に低燃費となる特長があり、1人あたりのCO₂削減につながる

サービス概要

両備グループでは、以下の3社により、瀬戸内海を中心とするフェリー・遊覧船、中部国際空港と津を結ぶ高速船を運航しています。それぞれ、乗って楽しく利用しやすい船舶で、安全で安心な移動サービスを提供いたします。

国際両備フェリー

岡山・高松から小豆島を結ぶフェリー定期航路を運営しています。

- 新岡山港～小豆島土庄港
- 高松港～小豆島池田港

ご予約がなくても先着順でご乗船は可能（乗用車の予約枠は全体の約半数）です。



時刻表・運賃等はホームページをご覧ください。

<https://ryobi-shodoshima.jp/>

神戸ベイクルーズ

神戸港内ぐるっと一周40～45分間のお手軽な港クルーズを運営しています。時刻表・運賃等はホームページをご覧ください。

<https://kobebayc.co.jp/>



津エアポートライン

中部国際空港（セントレア）と津なぎさまち（空港アクセス港）を45分で運航する高速船を運営しています。時刻表・運賃等はホームページをご覧ください。

<https://tsu-airportline.co.jp/>



脱炭素効果について

フェリーのCO₂排出量（貨物船と貨物列車との比較から推計した推定値）はマイカーのCO₂排出量に比べて約9.7%と、非常に高い脱炭素効果があります。

参照

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

また、両備グループ3社の船舶では、船が航行する際に生じる海水との摩擦抵抗を平滑性能に優れた船底塗料を採用することにより、その抵抗値を5～7%軽減しています。それにより、必要速力に対する燃料消費量を抑制するため、お客さま1人あたりの移動にかかるCO₂を削減します。

国際両備フェリー株式会社
Tel : 050-3615-6352

神戸ベイクルーズ株式会社
Tel : 078-360-0039
Fax : 078-360-0038

津エアポートライン株式会社

お問い合わせについてのご案内：

<https://tsu-airportline.co.jp/contact/>

地球環境保護の観点を重視した取り組みを複数実施しているホテルです

こんな方におすすめです

小豆島にお越しのお客さま

脱炭素メリット

- プラスチック製アメニティーやレジ袋を削減し、石油使用量の削減に貢献する
- 清掃やクリーニングにかかるエネルギー消費量を削減する
- トイレトペーパー等の資源の使い切りに取り組んでいる
- 節水節電に積極的に取り組んでいる

サービス概要

小豆島土庄港の目の前に位置するビジネスカジュアルリゾートホテル「オーキドホテル」は、眺望・アクセス良好でくつろげる空間をご提供します。レンタカー・レンタサイクル併設で観光の拠点としても大変便利です。

また、2024年4月には、ホテル敷地内に日帰り入浴施設「島湯」がOPENしました。

小豆島の玄関口にあるホテルとして長年営業している当ホテルですが、時代のニーズに対応するため、リーズナブルな宿泊特化型ホテルとしてのオーキドホテルと、今回の「島湯」完成を皮切りに、新しいフェーズでの営業展開を目指します。

将来的には「島湯」「島飯」「島泊」といった3つの異なる施設を整えます。観光客と島民が出会い、集える新しい憩いの場の創造で、小豆島の観光振興に貢献してまいります。



ホームページ

<https://ohkido.com/>

脱炭素効果について

オーキドホテルは、小豆島町が2021年と2022年に2年連続で「日本版持続可能な観光地100選」に選ばれるなど、全島でサステナビリティの取り組みを推進している小豆島において、地域の一員として、環境に配慮したホテル経営を推進しています。

- **プラスチック製品の削減**
プラスチックストローの使用を抑えると共に、プラスチックの占める割合を控えたものやリサイクル可能な代用品で製造されたアメニティーを採用しています。
- **エコ清掃の推進**
連泊のお客さまへはエコ清掃のご提案を行い、ご協力いただけるようお願いをしています。清掃やクリーニングにかかるエネルギー量を抑えることで、お客さまと共にCO₂削減に取り組んでまいります。
- **トイレトペーパー使い切り**
限りある資源を大切に使うことや、ごみの排出量を少しでも減らそうという意図から、お客さまにトイレトペーパーの使い切りへのご協力をお願いしています。
- **節水への取り組み**
洗濯にかかる水使用量の削減のため、お客さまにリネンやタオル類の節約のお願いをして、クリーニング量の削減を図っています。また、客室のトイレでの一度に流れる水量を調整することでも節水に取り組んでいます。
- **レジ袋の使用量削減**
売店をはじめ当ホテルで使用するレジ袋を有料化し、使用量を減らす取り組みを積極的に行っています。海洋プラスチックごみ問題や地球温暖化などの環境問題解決への貢献としてお客さまへの呼びかけを行っています。
- **客室における節電の取り組み**
2023年夏より、客室冷蔵庫の電源は常時OFFとし、お客さまにてご利用の際に電源をONにいただいています。

国際両備フェリー株式会社 小豆島事業部

Tel : 0879-62-5001

Fax : 0879-62-5005

地産地消の消費ルートの確立により 輸送によるCO₂排出を削減します

こんな方におすすめです

小豆島にお越しのお客さま

脱炭素メリット

- 水揚げ鮮魚の海上輸送に関する燃料使用量およびCO₂削減につながる
- 市場から消費地までの商品陸送・海上輸送にかかる燃料使用量およびCO₂の削減につながる

サービス概要

小豆島のオーキドホテル1階にある「居酒屋・食事処 漁師小屋 うまげなもん」では、小豆島近海で獲れる魚介類を新鮮なうちに地元漁師の方より直接買い付け、地元産の朝獲れ鮮魚をその日のうちにご提供しています。

オリーブ牛や小豆島・香川県の産野菜など、地元食材を使った豊富なメニューをご用意しております。

小豆島へお越しの際はぜひ当店で”島の味”をご堪能ください！

※不定休、営業時間15:00～21:00（ラストオーダー20:30）



ホームページ

<https://ohkido.com/umagenamon/>



脱炭素効果について

地産地消、朝獲れ鮮魚の提供は、地域観光や地元産業の振興に大いに貢献する一方で、脱炭素にもつながります。

小豆島近海で収穫されている地場鮮魚は、通常、水揚げ後に高松、岡山の市場へ納入され、それを再度小豆島へ輸送され消費されている実情があります。

そこで、小豆島で水揚げされたものを小豆島で食べる地産地消の消費ルートを確立させることにより、岡山、高松への輸送にかかる燃料消費およびCO₂削減に寄与しています。

たとえば、土庄－岡山間の21kmの輸送では、1日1トン、1便の輸送とすると、約903g-CO₂を排出しますが、この輸送がなくなると想定すると、年間では約329kg-CO₂もの大幅なCO₂削減となります。

国際両備フェリー株式会社 小豆島事業部

Tel : 0879-62-5001

Fax : 0879-62-5005

配送計画の効率化によりトラックの輸送台数を減らし CO₂排出量の削減に貢献します

こんな方におすすめです

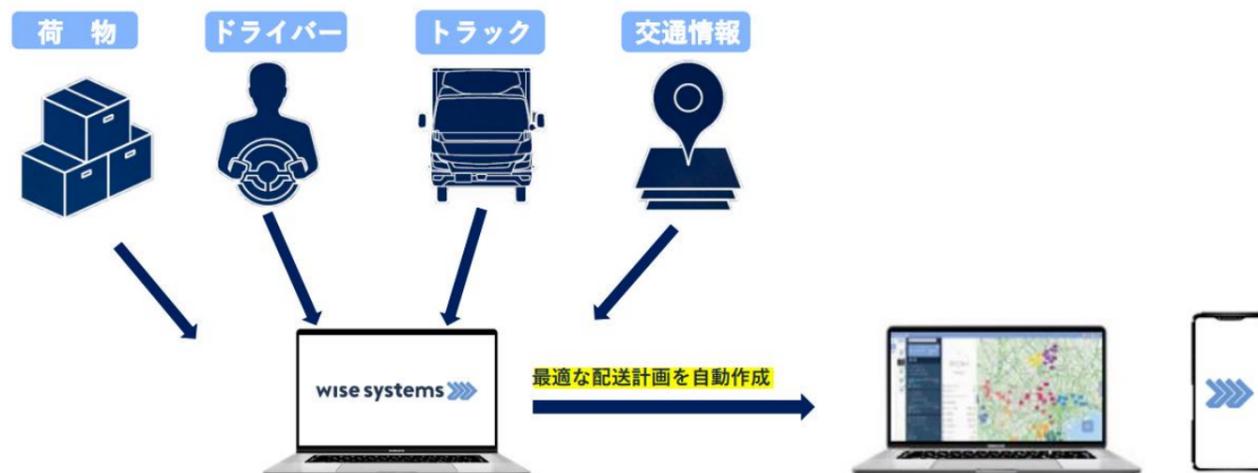
物流におけるCO₂排出量を削減したい荷主さま

脱炭素メリット

- 配送組合せの最適化と貨物配送状況を可視化することによって、トラック輸送台数と輸送距離を減らすことにつながり、CO₂排出量の削減に貢献する

サービス概要

当社では、三菱ふそうトラック・バス（株）が提供する、「ワイズ・システムズ」という、AIを駆使して最適な配送計画を作成する、自動配送計画・配車プラットフォームを活用しています。「ワイズ・システムズ」は、配送注文された荷物量、配送先の情報、スタンバイしている車両・ドライバー、交通状況などの配送に関わるあらゆる情報を加味し、またこれまでの配送実績などを機械学習させることで、より効率的な配送計画の提案を可能にします。



詳細は以下のホームページをご覧ください。
<https://www.mitsubishi-fuso.com/ja/product/wise-systems/>

脱炭素効果について

当社では、「ワイズ・システムズ」の以下の3つの機能を活用することにより、トラック輸送台数と輸送距離を減らし、CO₂排出量の削減につなげています。

- エンドユーザーへの二次配送ルート最適化
- 日々の物量にあわせた効率的な配送ルート計画策定
- リアルタイムな配送貨物追跡による正確な納品時間把握

当社では、「ワイズ・システムズ」導入前（2024年3月）と導入後（2024年6月）について、積載率が13%向上し、本業務における月間の車両手配台数を91車から80車に削減することができました。これにより、容積重量1t当たりの輸送に関わるCO₂排出量も13.3%削減されました。（※）

効率性の向上と共に、脱炭素にも貢献できるソリューションとなっております。

※以下の条件に基づき計算をしています。

- 走行距離は直近2か月の平均値より1車あたりを試算
- 燃費は省エネ法の軽油、最大積載量2,000~3,999kg、営業車両の4.58km/lを使用
- 排出係数は環境省DB（軽油：3.931142kg-co2/kl）を使用

陸上輸送から海上輸送への切り替えにより CO₂排出量の削減に貢献します

こんな方におすすめです

物流におけるCO₂排出量を削減したい荷主さま

脱炭素メリット

- 陸上輸送におけるCO₂排出量の約80%を削減する
※輸送区間により削減率は変動します

サービス概要

両備トランスポート株式会社

RORO船を運用する海運事業者と連携した海陸一貫輸送サービスを行います。トレーラー輸送により、輸送車両台数の削減が可能となります。対応区間は以下の2つです。

関東発～関西・中四国着 / 中四国発～関東・東北着

共備運輸興業株式会社

貨物船（ばら積み鉛）を利用した大量かつ長距離の輸送を行います。

会社ホームページ

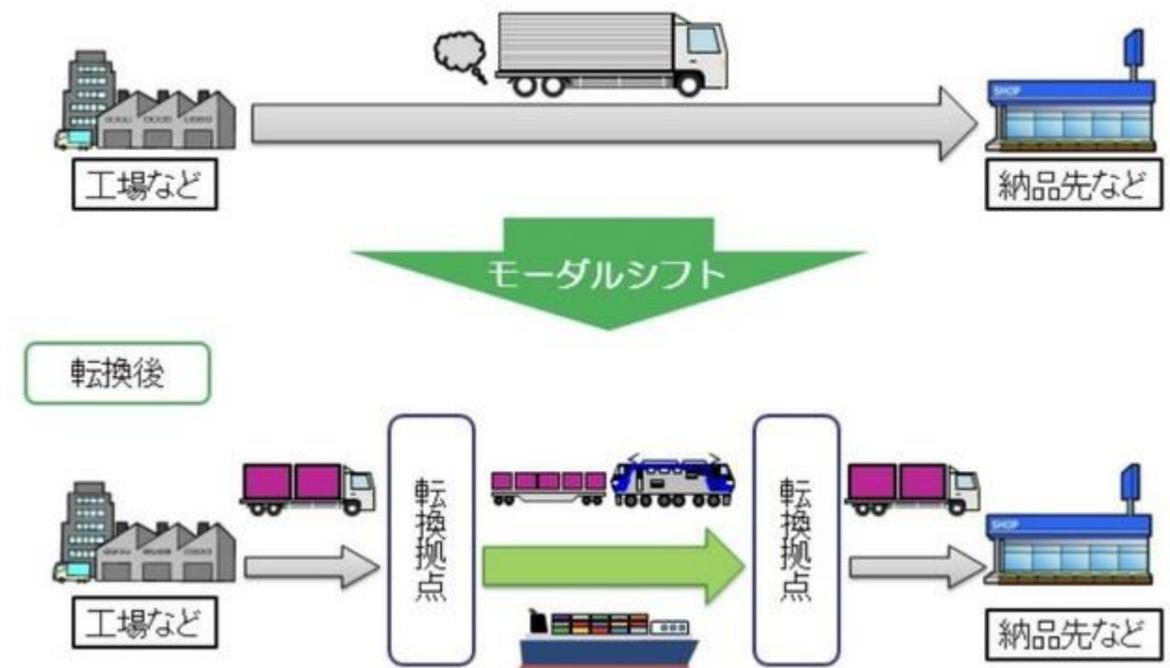
<https://www.kyobiunyu.com/>

脱炭素効果について

国土交通省の2021年度統計によると、日本のCO₂排出量（10億6,400万トン）のうち、運輸部門からの排出量（1億8,500万トン）は17.4%をも占めています。

また、自動車全体では運輸部門の86.8%、なかでも貨物自動車は運輸部門の39.8%を排出しており、物流や輸送分野では環境負荷の少ないものへ移動・輸送手段を転換する動きが求められています。そこで、物流や輸送分野のCO₂排出を大幅に削減できる策として、大きな期待を集めているのがモーダルシフトです。

モーダルシフトとは、中型～大型トラック等で行われている貨物輸送（現在主流の方法）を環境負荷の少ない鉄道や船舶の利用へ転換することを指します。



具体的に、国土交通省の調査によると、1トンの運送品を1kmの距離で運ぶ際に排出されるCO₂の量は、自家用貨物車は1.1kg、トラックなどの営業用貨物車が216gであるのに対し、船舶は43g、鉄道は20gしか排出されません。

つまり、貨物輸送の方法をシフトチェンジすることで、鉄道利用では約91%、船舶利用なら約80%もCO₂を削減することができます。

このように、地球温暖化対策としてモーダルシフトは非常に効果的です。

両備グループの物流部門では、両備グループのフェリー部門とも連携を行い、よりCO₂削減効果が高い船舶での海上輸送に積極的に切り替えています。

参考 https://operationgreen.info/modal_shift/

両備ホールディングス株式会社 両備トランスポートカンパニー 事業戦略本部

Tel : 086-274-8070

共備運輸興業株式会社 輸送課

Tel : 0836-84-4649